

(特非) e-myoko

妙高いもり池のスイレン、ブラックバス駆除、そしてヨシの刈り取りとヨシ紙漉き

イベント参加者の満足度 90%

助成活動がメディアに掲載された回数 8回

活動の全体目標に対する達成度 70%



いもり池周辺でのヨシ刈り作業

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 特定外来生物の駆除を市民に知ってもらえた。活動前3匹ほどだった蛍も50匹近くになった。ヨシ刈りで沢枯梗の花が増え、湿原が一変した。池面を覆ったスイレンが減り、池に映る「逆さ妙高」が復元された。
- 工夫** 市民に対して、街祭でヨシの紙すき体験を実施した。ホテルの育成地では親子参加のアジサイ植樹会を行った。

課題

妙高戸隠連山国立公園内の、いもり池の周辺環境保全のため、池のブラックバスとスイレンの駆除、ヨシの刈り取りと、それを原料にしたヨシ紙漉きが今年度の課題である。

活動内容

ボランティアと行政の協力で、夏にオオハンゴンソウ、秋にはスイレンの駆除活動。スイレン駆除は、ヘドロ状態の水底にスイレンの根が深く張り、その駆除は二日間の重労働。オオハンゴンソウは前年の経験を活かし、根から抜き取りを徹底。ヨシ刈りは刈り取ったヨシで紙漉きをするため、一部を乾燥し、街祭の会場で紙漉き体験を実施。蛍育成は、川底に石を敷き詰め卵を生む場所を作り、オオハンゴンソウを刈る。周辺に親子でアジサイ植樹。



池の平のホテル育成地での親子アジサイ植樹

今後の課題

最も重要な問題は、いもり池のスイレン駆除。池の水質改善、ヘドロの処理を含め、スイレンの駆除を徹底する必要がある。市役所、環境省、妙高高原ビジターセンターと話し合いながら、今後の活動を決める必要がある。